

## デビュー前のシミュレーション（平成 31 年 2 月 6 日更新）

30 期生は実習と実習の間の演習期間に入っています。この期間の演習は、経営診断 1 の演習とは異なり、中小企業に特有な課題がテーマとなっています。

本日までの 3 日間、取り組んでいるのが創業・経営革新助言能力演習です。中小企業基盤整備機構が持つ膨大な相談ケースの中から厳選されたケースを使用し、窓口相談のシミュレーションを行うため、通称「窓口演習」と呼ばれています。選りすぐりの窓口相談のエキスパートが相談者役を務めるため、リアリティ満点です。

通常の演習や実習ではグループで対応しますが、この演習ではアイスブレイクから相談内容の聞き取り、課題の抽出から解決策の提示まで 1 人で対応しなくてはなりません。まさに本番さながらとはこういうことです。

多くの修了生が何らかの相談業務に関わることになるため、どの顔も真剣そのものです。シミュレーション終了後のフィードバックでは、心構えからより具体的なアドバイスまで一言も聞き漏らすまいとメモをとる姿が印象的でした。

